

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前に、この『安全上のご注意』を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## お客様への安全上のご注意

**△ 警告** 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危険の程度を示します

器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。

火災、感電、または落下によるケガのおそれがあります。

万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、または工事店にご相談ください。

異常状態のまま使用しますと火災、感電のおそれがあります。

## 保管用

## 照明器具取扱説明書

HITACHI  
Inspire the Next

器具の配線工事は必ず工事店、電器店（有資格者）などがあこなってください。

資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

## 施工説明

施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

## 施工者様への安全上のご注意

**△ 注意** 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危険・損害の程度を示します

お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。感電、やけどの原因となることがあります。

安全に使用するために、定期的（年1回）に工事店等による点検を行ってください。

異常がありましたら販売店、または工事店等にご相談ください。

異常状態のまま使用しますと、火災、感電、落下の原因となることがあります。

この器具には寿命があります。一般的な使用場所では設置して8~10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。交換・点検をおこなってください。

使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯（JIS C 8105-1解説による）

周囲温度は取扱説明書指定の範囲で使用してください。不点や短寿命の原因となることがあります。

亀裂の発生した前面カバーはそのまま使用しないでください。

LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。

**警告**

製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危険の程度を示します

器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。

火災、感電、および落下のおそれがあります。

- ・周囲温度が常時指定温度を超える場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
- ・湿度が85%を超える場所、および水の浸る場所
- ・振動、衝撃の激しい場所
- ・粉塵の多い場所
- ・可燃材に触れる場所



使用条件

使用環境

## お手入れ

器具の清掃について…汚れを落とす場合は、洗剤（薄めた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。火災・変質・変色の原因になることがあります。

LED交換について…LED交換は出来ない構造です。定格寿命後は器具の交換をおこなってください。

ご使用中に前面カバーや反射鏡が若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスの付着であり、異常ではありません。

お客様へ 器具の保守のために、下記施工記録表を確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。

なお、安全のため保守作業はできるだけ工事店等にご依頼ください。

## 保守のための記録

工事完了後、今後の施設の安全維持のため、各欄に記入のうえ、お客様にお渡しください。

## 施工記録表

工事名		使用安定器	
工事店名		使用電圧	
電話番号		ブレーカNo.	
取付年月			

## 商品の保証について

照明器具保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。

保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証内容 取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理等の処置をさせていただきます。

補償期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

**注意**

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危険・損害の程度を示します

器具の取付けには十分注意をはらってください。

- ・取付面が強度不足の場合は器具の落下によるケガの原因となりまので、器具の質量に応じて十分確認して取付けてください。
- ・器具からの漏れ光が環境へ悪影響をおよぼす場合がありますので、取付けの際は考慮してください。
- ・照射距離が近い場合、火災の原因となりますので注意してください。

定格電圧(定格±6%以内)は電源接続の際に必ず確認をしてください。

誤って使用しますと、火災、LED損傷の原因となることがあります。

LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。

使用する電線は取扱説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。

指定性能以外の電線を使用すると火災、感電の原因となることがあります。

投光器を移動灯として使用しないで下さい。

破損によるケガ、やけど、故障の原因となります。



設置・施工



設置・施工



接地・施工



保守・点検



設置・施工



設置・施工



設置・施工



設置・施工

## お願い

LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色バラツキが大きいのが実情です。そのため個々LEDによる色味が異なる場合があります。また照射距離が近い場合は、照射面によって光ムラや色ムラが生じることがあります。前面カバーの表面に線状のキズのようなものがある場合がありますが、これはキズではなく製造上、不可避なものであります。ご了承ください。

## アフターサービス

ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

① 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

☎(03)3502-2111

## 製品概要

名 称	LED 投光器			
形 式	光源色:白色 色温度:5000[K] ± 250K			
LTE0771NDG	LTE0771NW	LTE0773NDG	LTE0773NW	
配光種類	狭角配光		広角配光	
仕上色	NDG: ダークグレイ(半艶) マンセルN3	NW: ホワイト(半艶) マンセルN9.5	NDG: ダークグレイ(半艶) マンセルN3	NW: ホワイト(半艶) マンセルN9.5
質量	5.5kg			
口出線	600V2種EPゴム絶縁クロロブレンキャブタイヤケーブル 2PNCT 0.75mm <sup>2</sup> ×3心 器具外1.2m 先端Hスリーブ付			
使用場所	屋外の一般的な場所	定格入力電圧	100~240V	
防水性能	防雨形	電圧変動範囲	定格値±6%	
使用温度範囲	-5~35	周波数	50/60Hz共用	

## ご使用上の注意

投光器の可動範囲は図1のようになっております。この範囲をご確認のうえ、投光器の取付けをおこなってください。  
その際、構造物とアームとの関係に注意して投光器が構造物に触れないようにしてください。火災の原因となることがあります。

LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。

投光器の周囲温度が35℃を超える場所で使用した場合、または直射日光の当たる場所でランプを点灯した場合、内蔵温度ヒューズが働き、ランプが消灯する場合があります。電子部品の保護機能であり故障ではありませんが、このような環境下では使用しないでください。

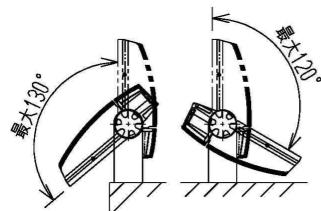
温度上昇により火災、電源の故障、若しくはLEDの寿命が短くなる原因となることがあります。

冠水のある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因になります。

投光器の前面カバーは交換が出来ませんので、傷等をつけないでください。破損、防水不良、照度低下の原因となることがあります。また亀裂の入った前面カバーは使用しないでください。

温泉地など、腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。

漏電ブレーカに多数の照明器具を接続する場合、漏電ブレーカの感度電流の設定に注意してください。不要動作を防止するため、感度電流が30mAの高周波対応形漏電ブレーカの場合、漏電ブレーカに接続する本投光器の台数を最大35台としてください。



器具の使用制限角度  
はありません。

図1 (構造物との干渉)

本投光器は定置形器具です。それ以外の用途で使用すると、火災・感電・やけど・落下による事故、および器具破損等の原因となることがあります。

## 投光器の取付

投光器は構造物への取付けを考慮のうえ、設置してください。

アクセサリーの取付けは別途商品の取扱説明書をご覧ください。

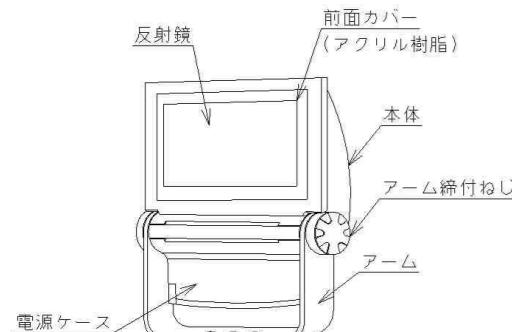
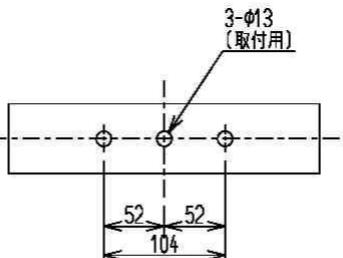


図2

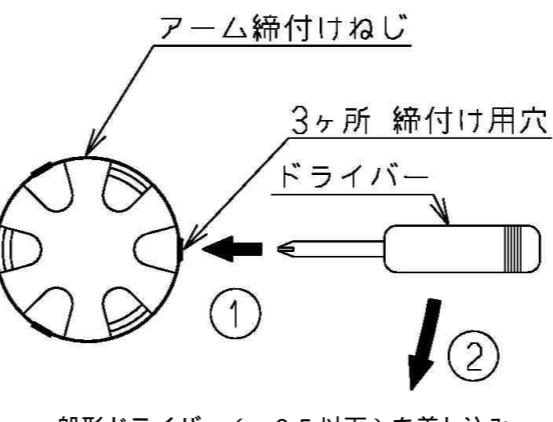
1. 投光器のアームには図3のように取付穴(Φ13)が設けてありますので、適用ボルトM10、若しくはM12で長さ25mm以上(ばね座金、平座金を使用)で緩みのないように確実に締付けてください。(締付推奨トルク17~24N·m)  
構造物等に直付けの場合はボルト2本で取付けてください。締付けが不十分な場合、ボルトが外れ、器具の落下の原因となることがあります。
2. 専用取付アーム(LTEA51(52)DG(W))、専用フランジ(LTEF53DG(W))には取付用のボルト、もしくはナットが付属されていますが、投光器には付属されていませんので、別途準備してください。また、従来のオプションは使用できません。専用オプションを使用してください。

## 施工説明書



\*取付ボルトはM10もしくはM12の長さ25mm以上を使用してください。

図3



一般形ドライバー(6.5以下)を差し込み  
ドライバーを回転させ強く締込みます

図4

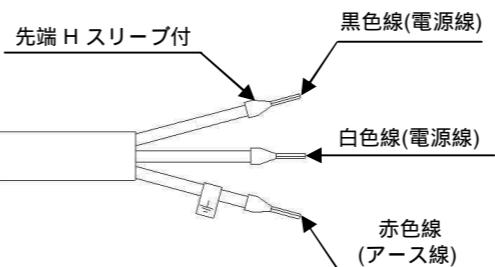
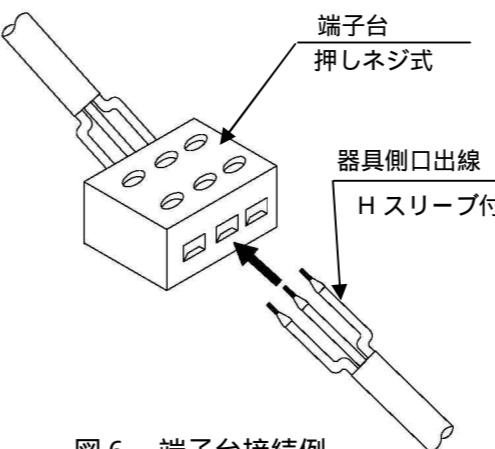


図5 口出線 末端部



## 照射角度の調整

1. 図2のアーム締付ねじを緩めて照射角度に合わせてください。
2. 照射角度調整後、しっかりと締付け直してください。手での締付けが不十分な場合、図2の締付ねじに締付け用穴がありますので、図4のように一般形のドライバー(先端径6.5以下)で締付けてください。  
締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。
3. 投光器の角度調整は10°ピッチです。  
それ以外の角度で使用すると不十分な締付けになり、投光器の落下の原因となることがありますので、おこなわないでください。

## 電源線の接続

投光器の口出線(3心キャブタイヤケーブル)に接続する配線は、クロロブレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、投光器からの口出線の黒色、白色に電源を結線してください。(図5)

### < 推奨接続方法 >

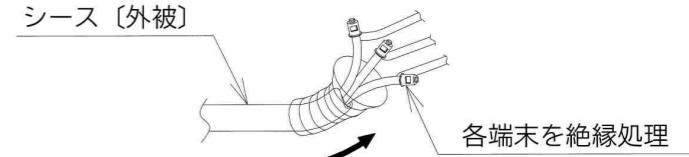
器具の口出線の末端にはHスリーブが付いています。  
図6に示すような差込型の端子台(押しネジ式)の使用を推奨します。

### < Hスリーブを使用しない場合 >

Hスリーブを使用しない場合は、Hスリーブを切断し電線の被服を剥き結線を行ってください。  
絶縁処理は導体部分のみではなくシース(外被)部も含めておこなってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因となることがあります。(図7)  
結線には確実に絶縁処理を施してください。

口出線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従ってください。(具体的な接続方法: 内線規程1335-7参照)

2. 3心のうち赤色線がアース線です。D種接地工事をおこなってください。



自己融着テープ等により各端末を絶縁処理した後に、シース(外被)部から絶縁処理をおこなってください。

図7